

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立鳴滝小学校	吉森 裕巳子
学校所在地		
〒 6 4 0 - 8 4 7 1 和歌山市善明寺 615-3 tel (0 7 3)4 5 3 - 2 3 1 5 fax (0 7 3)4 5 3 - 2 3 1 6		
担当者名		役職名・担当教科
北村 悠		教諭
<p>〔学校の概要〕</p> <p>わが校区は和歌山市の北部に位置する。鳴滝川をのぼると葛城第三の修験の行所があり、静まりかえった中に飛泉が岩にふれ、水勢どよめくところから「鳴滝」と名付けられたのであろうこの地も、開発の波が押し寄せ、昔の姿もほとんど失われつつある。本校の児童は、清掃活動や業間活動をファミリーの縦割り班で実施していることもあり、他学年とも仲良く遊んだり、協力して活動したりすることができる。生き生きと活動できる楽しい学校づくりに子どもたちと全職員が取り組んでいる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
5 学年 6 年生 2 6 名	職員 4 名	高野山
実践研究テーマ		
世界遺産の学習から、郷土についての親しみをもつ		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	和歌山の良さを感じよう～世界遺産を通して～	
〔キーワード〕 世界遺産学習 SDGs 郷土 高野山		
<p>〔単元目標〕</p> <p>20世紀から現在に至るまで、文明は栄える一方で、未解決のままの課題がある。先進国だけがその課題に取り組むのではなく、先進国・途上国すべての国が共通して取り組めればと考える。その課題の一つである環境問題の分野から、地元にある世界遺産（高野山）に着目し、その取り組みについて学びを深めていく。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 30時間（「和歌山の良さを感じよう～世界遺産を通して～」 10時間）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産講座・現時学習ガイド等 世界遺産マスター・・・現地学習ガイド		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紀伊風土記の丘に行こう。</li> <li>・紀伊風土記の丘についてまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勾玉づくりや古墳見学を通して、和歌山県の昔のくらしや歴史について知る。</li> </ul>	観察ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの17の目標について調べ、話し合うことで、自分たちがどんなことができるのかを考える。</li> </ul>	発言ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産について知っていることについて話し合い、世界遺産や高野山について興味をもったことについてインターネットを使って調べる。</li> </ul>	発言ワークシート
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高野山に行って世界遺産について知ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産センターの方に講義をしてもらい、世界遺産について学習する。</li> <li>・マスターの方々の説明を聞きながら実際に高野山を歩く。</li> </ul>	観察発言
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用して、新聞やスライドにまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で学んだことをもとに、撮影した写真を活用しながら新聞やスライドにまとめることで、学んだことをより深化させる。</li> </ul>	ワークシート 学習成果物発言

〔単元学習の成果と課題〕

〈成果〉

- ・実際に体験したことにより、自分事として和歌山県の歴史や世界遺産について考え、実のある学びとすることができた。同時に、郷土についての親しみをもつことにもつながった。
- ・現地学習で学んだことが他教科と関わりのあることが多く、体験後の学習でも活かされていた。

〈課題〉

- ・現地では世界遺産を体験するという一方で、意欲的に取り組むことができていたが、自分達の地域でも歴史を知ったり、考えたりできるよう、意欲を高めていく必要性を感じた。

〔世界遺産学習の効果〕

世界遺産については5年生で少し学習しているが、具体的にどういった意味をもっているのか、どこにどんな世界遺産があるのかなど、詳しく知るといった機会はこれまでなかった。その中で、実際に高野山を歩き、たくさんのお話を聞かせていただいたことで、新しい発見をするとともに関心が高めることができていた。体験後、教わったことを話し合い、共有している姿も見られた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

- ・今回の体験活動を通して、普段の授業やインターネットを活用した調べ学習に加えて、実際に体験して自分事として捉えられるようにすることの必要性を感じた。
- ・世界遺産についての講座では、5・6年生にとっては内容が難しいものもあったが、現地で実物に触れながら学ぶことで、興味を持つことができていた。こういった学習を様々な場面で継続的に実施していくことに大きな意味があると思った。

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

〈世界遺産講座〉

午前中は世界遺産について学びました。世界遺産には文化遺産・自然遺産・複合遺産の3種類あるということや日本の世界遺産の数などを教えていただきました。また、和歌山県の世界遺産についても詳しい説明を聞くことができました。



〈現地学習〉

午後からは世界遺産マスターの方々のお話を聞きながら、高野山を歩きました。自分たちで歩くだけでは分からないことやヒミツをたくさん教えてもらいました。



〈子どもたちの作品より（新聞づくり）〉

